

近藤春生研究会案内（2026年度）

1. 研究会の内容

テーマ：現代日本経済・財政の政治経済分析

【研究会の専門分野】

財政学、政治経済学、経済政策

【研究会の目標と予定】

本研究会は、政治学科で唯一経済学を専門的に学ぶことができるゼミです。日本経済の閉塞感が強まるにつれ、財政や経済政策についても専門家ではない人たちが専門的な知見に基づかない議論をばらまき、SNS やマスコミ等を通じて広がっている現実があります。そこで、本研究会では担当教員の専門である財政学や計量経済学の知識を使って、現実の政治や政策をどう考えるべきかについて「政治経済学」的に学ぶことを目標とします。本研究会は政治経済学に関する基本的な文献を読みつつ、計量分析の手法を学んだ後、「政治学」「経済学」の知見を動員して、パートゼミおよび卒業論文の執筆を行う予定です。スローガンは「よく学び、よく遊べ」です。イベントや他大学他ゼミとの交流を通じて、大学生ならではの充実したゼミ生活を実現してほしいと考えています。まだ第2期と新しい研究会なので、勉強する意欲は当然として、新しく研究会を作り上げる意欲に満ちた学生を希望しています。

【研究会で身につく力】

- ・巷の俗説に騙されず、現実の政策を政治経済学的な視点で分析する力（論理的思考力）
- ・データを読み解き、計量分析する力（データを見る力・計量分析の技術）
- ・プレゼンテーション、研究論文を執筆する力（研究成果をアウトプットするスキル）

【本ゼミの流れ】

現代日本の経済、財政を対象として政治経済学的に研究を行うことを目標とします。まずは、基礎固めとして、「財政学」を履修してもらいつつ、政治経済学に関する基本的な文献を輪読するとともに、基礎的な計量分析の手法を学んでもらいます。なお、計量分析の手法については、ゼロから学びますので、未経験者でも心配はいりません。その後、パートゼミを行う予定です。3年の三田祭終了後と4年は卒論の中間報告と執筆を行います。

具体的なテーマ例：コロナ後の経済財政、ふるさと納税と地域活性化、交通インフラの地域経済効果、政治と経済政策の関係—選挙や政権の弱体化はバラマキにつながるのか etc.

2. ゼミの催しもの

本ゼミで学習・研究に注力し、学問に研鑽を積むことは最優先として、サブゼミ、他大学との合同ゼミ、合宿、三田祭、各種イベント等を必要に応じて行う予定です。ゼミの主役は学生の皆さんです。研究会を新しく作る気概を持った学生に参加してもらいたいと思います。

3. 評価方針

研究会における学修内容、活動内容を総合的に評価して決定します。無断欠席、遅刻、その他生同士、教員との信頼関係を損ねる行為は厳禁です。

近藤春生研究会募集要項（2026 年度）

4. 入ゼミ課題・選抜方法

(1) 選考方針

- ・研究会は 2 年間で完結します。4 年生まで研究会を履修すること。
- ・勉学・学問に対する真摯な姿勢を望む。
- ・グループワークもあるので、協調性も必要。

(2) 選抜方法、課題

【募集予定人数】

最大 15 名程度。

(1 次募集で予定人員に達した場合は、2 次募集を行わない可能性もある。)

【1 次募集】※現時点での予定

2026 年 1 月 12 日(月)23:59 までに以下の書類を添付し、e メールで提出すること。

※通常 48 時間以内に返信しますが、返信がない場合は再度送信して下さい。

- ・提出先 政治学科教授 近藤春生 hkondoh@keio.jp
- ・書類 ①自己紹介、自己 PR、志望動機、を A4 用紙で 1~2 枚程度。
→自己紹介には氏名、所属学部学科、学籍番号、e メールアドレスを必ず含むこと。
②井堀利宏著『教養としての政治経済学』を読んで、書評を A4 用紙で 2 枚程度。
③これまでの成績のコピー（画像でも可）

上記エントリーが遅滞なく行ったものに対して、面接を実施する予定。

書類と面接の結果を踏まえて、採否を決定する。

※面接は学生面接を含む可能性もある。また、Zoom で行う可能性もある。

【2次募集】※現時点での予定

2026年2月24日(火)23:59までに以下の書類を添付し、eメールで提出すること。

※通常48時間以内に返信しますが、返信がない場合は再度送信して下さい。

・提出先 政治学科教授 近藤春生 hkondoh@keio.jp

・書類 ①自己紹介、自己PR、志望動機、をA4用紙で1~2枚程度。

→自己紹介には氏名、所属学部学科、学籍番号、eメールアドレスを必ず含むこと。

②島澤諭著『教養としての財政学』を読んで、書評をA4用紙で2枚程度。

③これまでの成績のコピー（画像でも可）

上記エントリーが遅滞なく行ったものに対して、面接を実施する予定。

書類と面接の結果を踏まえて、採否を決定する。

※面接は学生面接を含む可能性もある。また、Zoomで行う可能性もある。